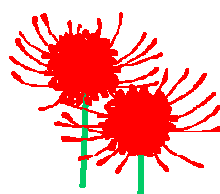


スマイル便り



平成20年10月 1日

京都市立高倉小学校

スマイル21プラン委員

「スマイルたかくら」が開催されます 10月25日（土）

「スマイル21プラン委員会」では、推進委員会の7部会が中心になって、10月25日（土）（10:50～12:10）「スマイルたかくら」を開催します。

その中で、どの部会も、地域の方、保護者、そして教職員が協働してオープンスクールや展示コーナーを計画し、子ども達に様々な体験ができるように工夫しています。どのオープンスクールも自由に参加することができますので、保護者の方、地域の皆様もぜひ多数ご来校頂き、ご自由にご参観ください。そして、「スマイル21プラン委員会」の取組について、一層ご理解を深めていただければ幸いです。

オープンスクール

「試してみよう！パソコンで達人探し」（人・まち部会）

「Let's try! 吹奏楽体験！」

（TAKAKURAコミュニケーション部会）

「お茶会体験」（高倉文化部会）

「不思議科学マジック&おもしろ工作」

（学力向上プラン部会）

「大地震にそなえよう＝そして命の使い方＝」

活動部会）

展示コーナー

ムーミンタイムの紹介と物語クイズ（読解部会）

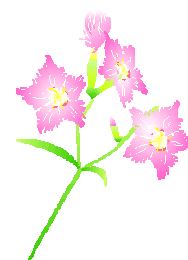
「あいさつ」に関するアンケート調査と取組

（評価部会）

◎詳しくは、先日配布しました「スマイルたかくら」ご案内、後日発行されますPTA広報誌「たかくら」、または当日配布しますプログラムをご覧ください。

<スマイルの主な予定> 10月～12月

10/7（水）	第4回企画委員会
10/18（土）	第3回親子トイレ掃除
10/19（日）	新京極映画祭
10/25（土）	スマイルたかくら
11/8（土）	第4回親子トイレ掃除・コーチング講習会
11/16（日）	のれんスタンプラリー
11/29（土）	御苑ラリー
12/13（土）	第5回親子トイレ掃除



☆7部会だより☆

「地域の達人ハンドブック」活用しています！（スマイル：人・まち部会）

昨年度、多くの地域の方にご協力頂き、人・まち部会が中心となって作成しました「地域の達人ハンドブック」は、早速、社会科や「たかくら学習」の中で活用しています。

「たかくら学習」では、次のような活動をすることができました。「祇園祭」がテーマである5年生は、祇園祭の達人にお話を伺い、祭りの由来や祭りに対する地域の方の思いや願いなどを知ることができました。また、達人の方の紹介で、実際に鉦立てを見学したり、曳き初めを体験したりするなど、高倉文化に直接ふれる学習をすることができました。

「地域の達人から学ぼう」をテーマにした3年生では、実際にハンドブックの中から、自分が興味をもった達人の方を一人選び、その方にインタビューしたり、達人のワザを体験させて頂いたりすることができました。本物の技に触れた子どもたちからは、「そんなことができるなんてすごい！」「自分も練習してもっとうまくなりたい」等の声が多く聞かれました。

今後も、このハンドブックを大いに活用し、魅力ある、楽しい授業作りに取り組んでいこうと考えています。また、そんな素晴らしい技をもった地域の達人の方が、たくさんおられる高倉の地域に愛着を感じ、誇りに思う子どもたちを地域ぐるみで育てていきたいと思えます。



ことしも楽しかった **夏だ！スマイル地蔵盆** (スマイル：高倉文化)

『京都に来てはじめて「地蔵盆」という地域の行事があることを知りました。』というつぶやきからはじまった高倉の手作り地蔵盆も2年目となりました。子どもの成長と安全を願う京都独特の行事をどの子



にも体験してもらいたいという願いが伝わり、子どもだけでなく家族みんなでの参加もありました。当日は、地蔵盆に飾るたのしい絵を持ってランチルームに集合です。2部構成で1部は和尚さんのお経と共にみんなでまわす「数珠回し」

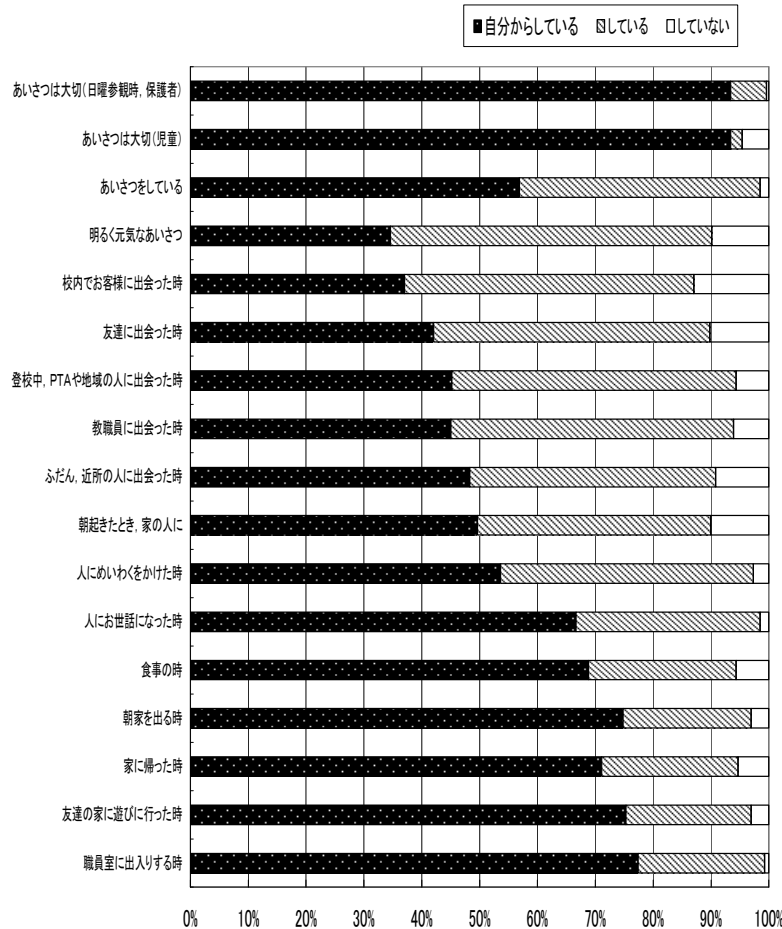
(108の数珠玉が繋がれている)をしました。108の数珠玉の由来は人間の煩惱が108あることから来ているそうです。数珠の中には大きめの数珠玉が数個あり、それが自分の所に回ってきたら額にあてて祈ります。2部は、楽しい遊びの時間です。ゴム跳びとスイカ割り初めの一步。ワイワイ・キャーキャーと言いながらしっか汗をかきました。



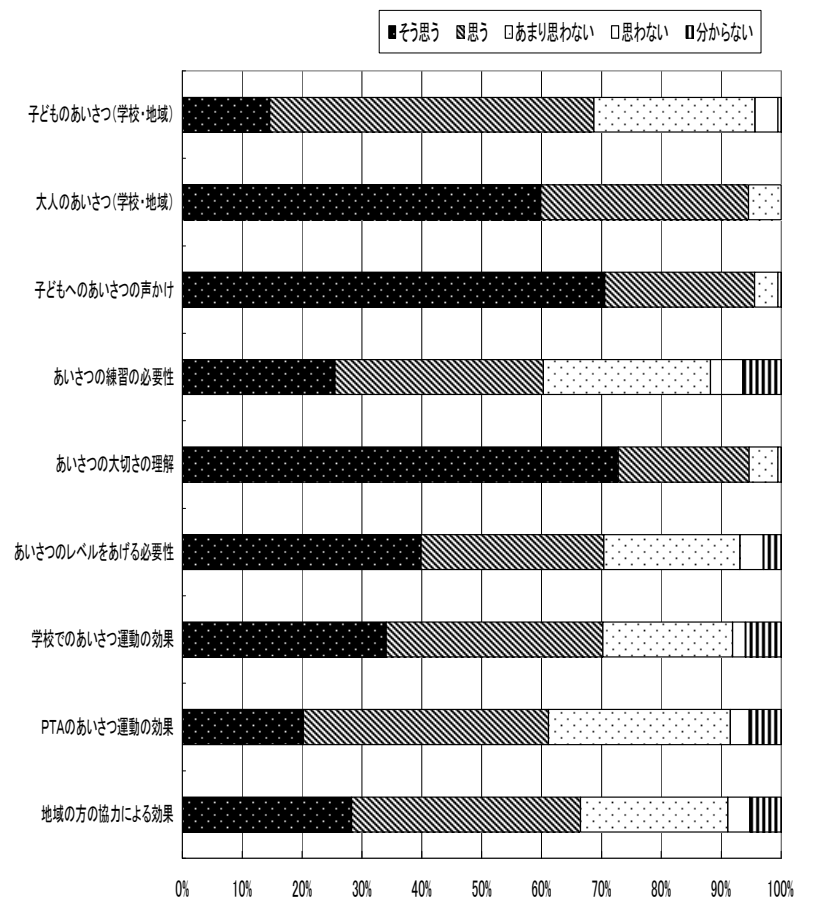
自分から進んであいさつができる子に～アンケートの結果より～ (スマイル：評価部会)

児童や保護者のアンケート結果より、大半の児童があいさつはできていると答えています。地域や学校で、自分から進んで、明るく元気なあいさつをすることは課題があると言えます。一方、ほとんどの大人(保護者)も、子どもに声をかけているのにも関わらず、子どもたちが学校や地域であいさつが十分にできていないと思っている人が多いことが分かります。また、あいさつができるようになるためには、あいさつの目的や大切さを理解することが重要であると答えた人も多く、子どもたちにどのように理解させていけばよいか課題としてあげられます。

あいさつに関する児童アンケート(7/8実施)



あいさつに関する保護者アンケート(7/14~7/18実施)



そこで、このアンケートの結果を受け、「スマイル：評価部会」では、協議を重ね、改善策として以下のような方向性で取組を進めていくことを提言いたします。

＜改善策の方向性＞ 地域ぐるみであいさつに取り組んでいく。

(児童) 5年生を中心に取組を進めていく。まず、5年生で「自分から、あいさつができるようになるにはどうすればよいのか」を話し合い、実際の取組を考える。そして、その案を児童会を通して全校に呼びかけていく。

(教職員) 児童の考えた取組が、スムーズに実施できるよう支援をしていく。また、毎日の授業や学校行事等学校生活全体の中で、あいさつの目的や大切さについて、児童の発達段階に応じて考える機会を意図的に設定していく。また、教職員自らが、手本として、今後も学校や地域の中で進んであいさつをするようにする。

(保護者) 朝の声かけ運動時に、保護者の方から、児童に「おはよう」等の声かけをしていく。また、大人自らが、手本として、今後も学校や地域の中で、進んであいさつをするようにしていく。

(地域) 地域の中で、あいさつができるよう、登校時には、散歩や門掃きをしている方、下校時には、見守り隊の方を中心に「おはよう」「お帰り」等の声かけをしていく。